議案第 5 7 号

向日市公共下水道条例の一部改正について

向日市公共下水道条例の一部を改正する条例を制定する。

よって、地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 9 6 条第 1 項
第 1 号の規定により、議会の議決を求める。

令和 7 年 8 月 2 7 日提出

向日市長 安 田 守

条例第 号

向日市公共下水道条例の一部を改正する条例

向日市公共下水道条例（昭和53年条例第22号）の一部を次のように改正する。

（下線部分は改正部分）

改 正	現 行
<p>（排水設備工事の実施）</p> <p>第6条の2 排水設備の新設等を行う者は、当該工事の設計及び施工については管理者が下水道排水設備指定工事業者として指定した者に行わせなければならない。<u>ただし、災害その他非常の場合において、管理者が他の市町村長（地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第7条の規定により置かれた下水道事業の管理者を含む。）の指定を受けた者に当該工事を行わせる必要があると認めるときは、この限りでない。</u></p>	<p>（排水設備工事の実施）</p> <p>第6条の2 排水設備の新設等を行う者は、当該工事の設計及び施工については管理者が下水道排水設備指定工事業者として指定した者に行わせなければならない。_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>
<p>（除害施設の設置）</p> <p>第11条 次に定める基準に適合しない下水（水洗便所から排除される汚水及び法第12条の2第1項又は第5項の規定により公共下水道に排除してはならないこととされるものを除く。）を継続して排除して公共下水道を使用する者は、除害施設を設けてこれをしなければならない。</p> <p>(1)～(10) 略</p>	<p>（除害施設の設置）</p> <p>第11条 次に定める基準に適合しない下水（水洗便所から排除される汚水及び法第12条の2第1項又は第5項の規定により公共下水道に排除してはならないこととされるものを除く。）を継続して排除して公共下水道を使用する者は、除害施設を設けてこれをしなければならない。</p> <p>(1)～(10) 略</p>

(11) 前各号に掲げる物質又は項目以外の物質又は項目で、京都府環境を守り育てる条例（平成7年京都府条例第33号）により当該公共下水道が接続する流域下水道からの放流水に関する規制基準が定められたもの（第5号に掲げる項目に類似する項目及び大腸菌数を除く。）当該排水基準に係る数値

2～4 略

(11) 前各号に掲げる物質又は項目以外の物質又は項目で、京都府環境を守り育てる条例（平成7年京都府条例第33号）により当該公共下水道が接続する流域下水道からの放流水に関する規制基準が定められたもの（第5号に掲げる項目に類似する項目及び大腸菌群数を除く。）当該排水基準に係る数値

2～4 略

附 則

この条例は、公布の日から施行する。